

セキュリティ人材

NTTグループ全体で人材育成

情報セキュリティに関する脅威が高度化・多様化する一方で、現在、国内企業で情報セキュリティに従事する技術者は約26.5万人。情報処理推進機構 (IPA) の試算によると約8万人が不足とされています。こうした中、NTTグループは、グループ内のセキュリティ人材育成強化のため、2020年までに国内のセキュリティ人材を現在の約2,500人から約1万人にすることを数値目標としました。

NTTデータにおいてもセキュリティ人材の確保、並びに育成が急務であると認識し、研修や社外専門家との

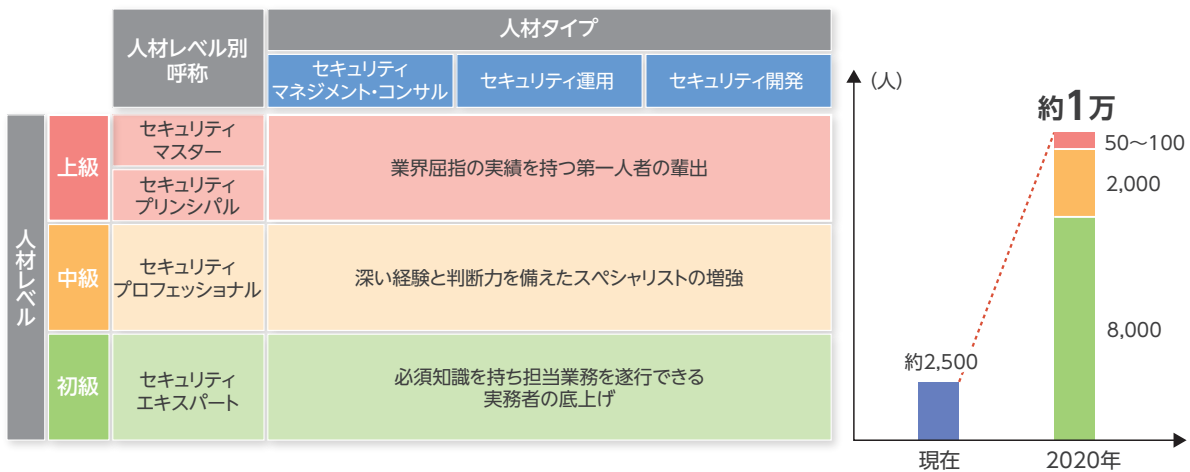
連携を推進していきます。

役割イメージに応じた育成施策

NTTグループでは、セキュリティ人材を、セキュリティマネジメント・コンサル、セキュリティ運用、セキュリティ開発の3つの人材タイプに分け、さらにそれぞれの人材タイプについて上級、中級、初級の3段階のレベルに分類しています。

このような役割イメージに応じた人材育成施策を、NTTグループ各社で取り組んでいます。

NTTグループ内のセキュリティ人材育成強化



NTTデータにおける資格の取得状況

NTTデータでは、情報セキュリティに従事する人材育成を推進しています。2016年1月現在でIPAが認定する情報セキュリティスペシャリストが972人、国際的な認定資格CISSP(情報セキュリティ・プロフェッショナル認証資格)取得者が34人在籍しています。

